
王様を助けに行く

白月 安芸

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

王様を助けに行く

【Nコード】

N0299P

【作者名】

白月 安芸

【あらすじ】

平和な村に王様から一通の手紙が…。

（前書き）

これは、私が小3の時に書いた話なので意味不なところもあるだろうと思いますが、その辺はご了承くださいませ。

ある暑い日に、仲の良いジョニーとシャリティーは、平和な村に暮らしていました。

ところが、王様から一通の手紙が…

「お城が大変な事になっている。早く来い。」

と、書いてありました。ジョニーは驚いて、思わずこう言いました。

「こんな事があるなんて、それは危ない。この村まで怪物に取られてしまう。」

そうして、道具や食べ物を持って、出かけました。

ずいぶん歩くと、森に着きました。ジョニーとシャリティーは、もうくたくたです。

「少しここで休みましょ。」

「いいけど、お城に行くのにこの暗い森を抜けなければならないの？」

「そうよ。この薄暗い森を抜けるのよ。」

「えゝ僕怖いよ。」

「さて、そろそろ行きましょ。」

「嫌だ！怖くて行けないよ。」

「ご褒美がもらえるかも知れないわよ。」

そして、ジョニーは怖いのを我慢して森の中に入って行きました。入って一分ぐらい経つと、キツツキが木を叩き始めました。シャリティーは、その音を聞いて、

「まあ、素敵な音ね。」

「な、シャリティー、そんな呑気なこと言わないでよ。僕、動物大嫌いなんだから。」

「我慢しなさい。お城へ行くにはこの道しかないんだから。男な

んだからしつかりしなさいよ！」

そこで彼らは木に出会いました。

「ここから先は気をつけた方がいいですよ。熊がよく出てきますからね。」

ジョニーは、大の動物嫌いでした。中でも一番嫌いな動物は熊です。なのでジョニーは、びくびくしていました。

少し歩くとフクロウに出会いました。

「お城へ行くのでしたらお城への道を教えて差し上げましょう。」と、王様のペットであるフクロウが言いました。

そして、寝ている熊の横を通るとき、そつと行つたのですが、熊に気付かれてしまい、攻撃されてしまいました。

「こら〜！昼寝の邪魔を仕上がって（、怒）」

熊はかんかんに怒って攻撃しました。ジョニーは足が速かつたので避けることが出来たのですが、シャリティーはモロに受けてしまい怪我をしてしまいました。

「シャ・シャリティー大丈夫？！背負ってあげようか？」

「ありがとうジョニー」

そうして、ジョニーはシャリティーを背中に乗せて、再び歩いていきました。

そして、ようやくお城に着きました。そこへ王様が走ってきた。

「早く来てくれ！」

「はい！」

ジョニーとシャリティーは、大急ぎでバックの中から剣と盾、ハンマーを持ちました。

王様が言う部屋に入っていくと、怪物がお姫様をさらっていているとしていました。

ジョニーは怪物に向かって言った。

「怪物め、お姫様を離せ！」

「誰が離すか！こいつは俺様と結婚する運命にあるのだよ！！」

「誰があんたなんかと結婚するものですか！あなたみたいに気持ち悪いヤツとは結婚したくはありません！」

「何だと？俺様と結婚しないだど??」

「当たり前じゃない！」

「でも。無理矢理でも結婚してやるからなーv」

「そんな好き勝手言いやがって！とつとと片付けるぞシャリティ
イイーー！」

「ええ、いくわよ！このジャイアントハンマーを喰らいなさあい
！！」

「いてて（x x）このガキ共が俺様を撃ちやがったな！」

「・・・お前みたいな怪物は、倒さなければならんだ。」

「ジョニーはそう呟きながらとうとう怪物にトドメを刺しました。」

「強いだね。ジョニーは素晴らしいわ！」

「シャリティーもすごいじゃないか！あの怪物を怯ませてくれていたから、倒すことが出来たんだよ！」

「2人ともよくやったな。ご褒美に御馳走を食べさせてあげよう。」

「やったー」2人は大喜び。

「良かったわねジョニー。あの森を抜けられて。」

それからジョニーとシャリティーは貰った御馳走を食べて、食べきれなかったものは町に持って帰ってみんなで分けました。

2人はこれからも幸せに暮らしていくことでしょう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0299p/>

王様を助けに行く

2011年10月7日23時02分発行